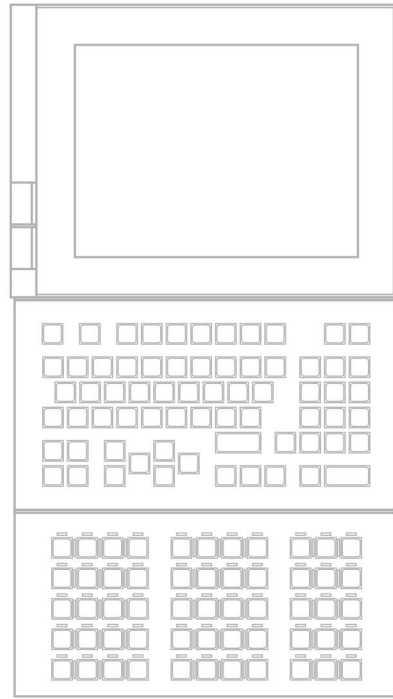
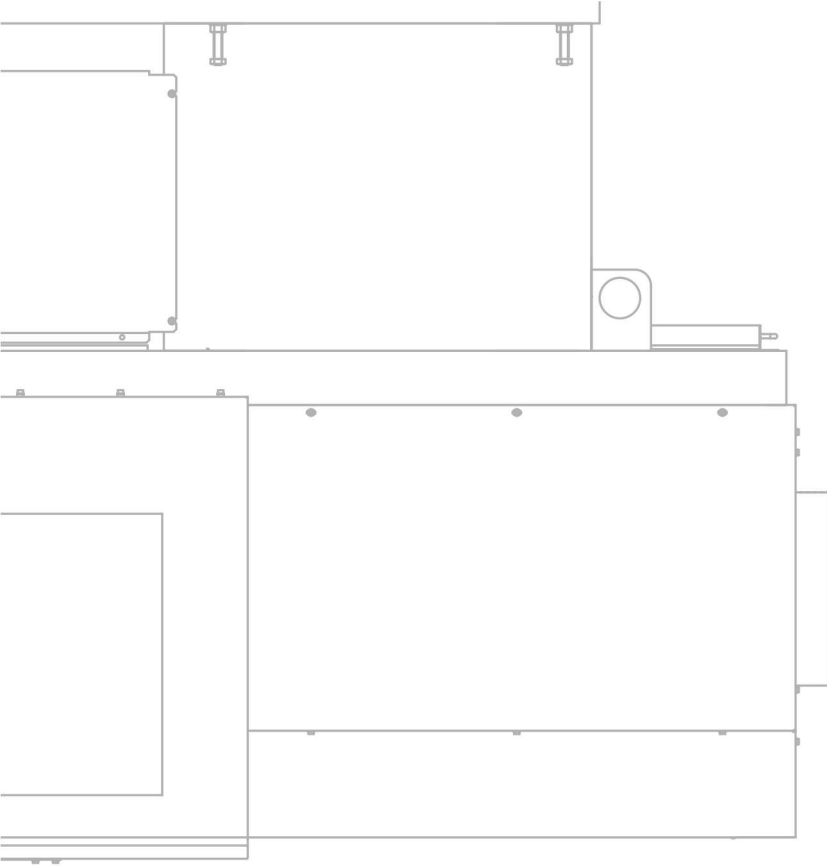
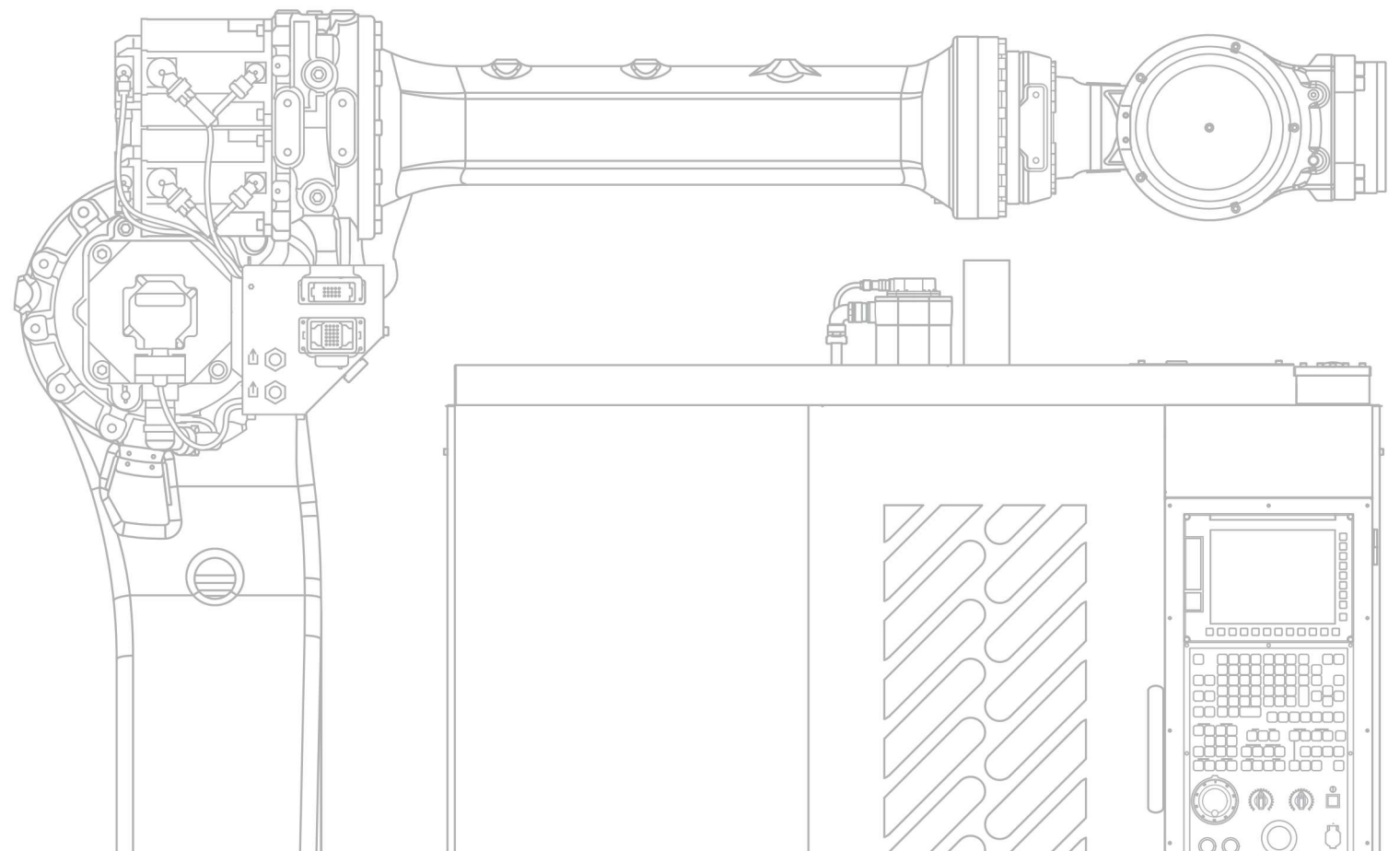


FANUC

CORPORATE PROFILE



自動化技術で あなたのビジネスの成功を 共に目指す

機械を制御するFA事業と、その基本技術を応用した
ロボット事業とロボマジン事業。3つの事業を通じて、
ファナックは産業オートメーションの未来に
必要な技術を追求し続けています。

止まらないこと。より滑らかに。より速く。
よりスマートに。静音、省エネも。

自動化を追求することで、絶え間なく変化する
あなたのビジネスをファナックは支え続けます。

ごあいさつ

1955年にコントロールの開発プロジェクトチームが発足し、1956年に日本の民間として初めて工作機械におけるNC（数値制御装置）とサーボ機構の開発に成功して以来、私たちファナックは、一貫して製造業をはじめとする産業のオートメーションを追求してきました。それら基本技術からなるFA（Factory Automation）事業と、その基本技術を応用したロボット事業およびロボマジン事業を展開しています。これらもお客様へ一層の価値を提供すべく、制御、デジタル、IoT、AIなどの最新技術を積極的に開発・適用しており、特に次の点に力を入れています。

- ・「One FANUC」を合言葉に、FA・ロボット・ロボマジンの3事業とサービスが一体となったトータルソリューションの提供、およびグループ一体となった世界のお客様への対応、というファナックならではの強みを最大限活かしています。
- ・ファナックは生産財のサプライヤーであるとの原点に立ち、信頼性を最も重視しています。お客様のダウンタイムを最小にして稼働率向上を図るため、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」ことを商品開発において徹底しています。
- ・世界中のどこでもファナックのグローバルスタンダードに沿った高度な保守サービスを提供すること、お客様が使用し続ける限り保守を続けること、を基本とした「サービスファースト」を実践しています。

私たちは、お客様の事業の自動化と効率化を推進することで、今後も成長が見込まれる産業のオートメーション分野において、信頼される企業であり続けることを目指します。

代表取締役社長 兼 CEO 山口 賢治

ファナックの基本理念

厳密 透明

企業の永続性、健全性は厳密から生まれる。
組織の腐敗、企業の衰退は不透明から始まる。

ビジョン

産業のオートメーション分野において、不断の技術革新によって、
無くてはならない価値を世界中に提供し続け、
ステークホルダーから信頼される企業であり続けます。

世界の産業を支えるファナックの自動化技術

1955年の創業以来、ファナックは一貫して製造業をはじめとする産業のオートメーションを追求してきました。そうして生み出されたファナック商品が、世界中の現場で稼働し、私たちの生活を支えています。産業のオートメーションは今後まだまだ進化していく分野です。その進化を実現するため、ファナックはこれからも全力で技術を磨いていきます。

FA

数値情報で工作機械の動作を制御するCNCや速度と位置を制御するサーボ等、産業のオートメーション化を実現する基本商品を扱っています。



工作機械メーカーにより
機械に搭載



ロボット

CNCとサーボの基本技術に応用し、アームを自由に制御することとで、様々な作業を自動化します。3K(危険、汚い、きつい)作業からの解放による労働環境の改善や、長時間の安定連続生産による商品品質の向上・安定化などに貢献します。また、人と協働で作業するロボットを開発するなど、減少する労働人口を補い、世界中の産業の生産性や稼働率の向上に貢献します。



ロボマシ

CNCとサーボの基本技術に応用した、小型切削加工機(ロボットドリル)、電動射出成形機(ロボット)、ワイヤ放電加工機(ロボット)を開発しています。加工性能、稼働率、使いやすさの追求により、お客様の生産性向上に貢献します。



生産・物流ラインで働き、
身近な製品の製造などに携わっています



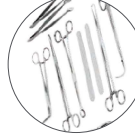
航空宇宙



電子機器



食品



医療機器



プラスチック部品



自動車



物流



CNCによる5軸加工

高い精度と信頼性を誇るCNCシステムによる制御が、効率的な5軸加工を実現し、複雑な部品の生産を可能にしています。多軸の同時高速駆動、高精度で滑らかな加工を実現する高度な制御技術が、金型、電極の生産に用いられています。



ロボットによる多彩な組立

組立やねじ締め、部品実装・搬送・検査など様々な工程にロボットが導入されています。ファナックでは、小型高速から大型まで幅広いラインアップを揃え、あらゆる工程の自動化を推進しています。



ロボショットによる多材成形

標準的な成形以外にも、インサート成形、オーバーモールド成形といった豊富な射出成形技術と高度な自動化システムで自動車部品の生産に貢献しています。多材成形は、1つの金型で異なる材質の材料を組み合わせて成形する技術で、様々な特性を持つハイブリッド部品の生産を可能にしています。

ファナックの開発体制

信頼性の高さは、お客様の生産性向上や競争力向上にもつながると考えています。そのためファナックでは、開発の時点から信頼性を念頭に置いて設計しています。

ファナックの開発ポリシー

ファナックは生産財のサプライヤーであるとの原点に立ち、お客様のダウンタイムを最小にして稼働率向上を図るため、「壊れない」「壊れる前に知らせる」「壊れてもすぐ直せる」ことを商品開発において徹底します。

壊れない

壊れる前に知らせる

壊れてもすぐ直せる



開発と製造が密に連携し、高品質な商品を提供する

開発と製造が日常的にコミュニケーションを取っていることはファナックの重要な特長の一つです。これにより、商品設計する技術者が製造プロセスを熟知することができま



次世代技術研究所

次世代技術研究所は、数年前に必要な要素技術を、各研究開発本部から研究員を集めて、one FANUC による部門横断体制で研究・開発しています。



信頼性評価棟

信頼性を高めるための仕組み

信頼性評価棟は、研究開発における最大の建物です。実際よりも厳しい条件にて評価試験を同時に多数行い、効率的に信頼性の向上を図ります。

商品試験エリア



専用試験室



電波暗室・電磁耐性試験室・加振室・ミスト試験室・温度可変室・湿度可変室・限界試験室・騒音測定室・水没試験室・クリーンルーム・精密測定室などの専用試験室があります。

ファナックの生産拠点

ファナックは日本国内で生産を行うことで、開発と製造の一体化を図っています。
またBCP(事業継続計画)の観点から、自然災害などに備え、4拠点を生産の複線化体制を構築しています。

本社工場 山梨県忍野村

山梨県忍野村にある本社工場群です。緑豊かな54万坪(178万m²)のファナックの森の中に、多くの工場が点在しています。CNC、サーボアンプ、サーボモータ、ロボット、ロボショット、ロボカットの組立、及び機械加工、プレス、ダイキャスト、塗装を行う工場があります。機械加工の長時間連続無人運転を実現するなど、工場の自動化、ロボット化を積極的に推進しています。



壬生工場 栃木県壬生町

栃木県壬生町の21万坪(70万m²)の敷地に建設されたファナックの最新鋭の工場群です。工場内のすべての機器をネットワークで結合した高度に自動化された工場です。各工程はロボットにより自動化され、自動搬送システムで連結されており、部品加工から組立・試験まで一貫生産を行っています。本社工場と合わせて、CNC、サーボアンプ、サーボモータの生産能力を増強し、安定供給を図っています。また、ロボットコントローラを製造しています。



筑波工場 茨城県筑西市

茨城県筑西市の27万坪(90万m²)の敷地に筑波工場があります。筑波1区は、ロボドリルとロボットの組立を行っています。筑波2区は、ロボドリルとロボットの部品加工と組立、ロボットコントローラの製造をしています。高度にロボット化された設備を駆使し、効率の良い生産を行っています。



隼人工場 鹿児島県霧島市

鹿児島県霧島市の5万坪(17万m²)の敷地に隼人工場があります。高度にロボット化された設備で、サーボモータ用センサを製造しています。



ファナックの工場

多くの工場でロボットを始めとした自社商品を活用することで、高度な自動化を実現しており、効率的に生産を行っています。

CNC工場

本社

壬生

ファナックロボットを多数活用し、従来人手で行っていた複雑な組立作業をロボットで行っています。



サーボモータ工場

本社

壬生

当社の技術を結集した最新のロボット化工場で、部品取出しから組立、試験、梱包までを高度に自動化し、効率の良い生産を行っています。



サーボアンプ工場

本社

壬生

プリント板や放熱フィン、冷却ファンなどの筐体への組み付けから試験まで、ファナックロボットによる一貫した自動化を実現しています。



ロボット工場

本社

筑波

ファナックロボットを多数用いた自動組立システムでは、ロボットがロボットを組み立てています。組み立てられたロボットは、試験スペースに自動搬送され、自動試験を行い、連続運転と検査を行ってから出荷されます。



ロボドリル工場

筑波

工具交換機構などのユニット組立はロボットにより自動で行います。主軸の組立では、作業者に交じって多数の協働ロボットが活躍しています。



ロボショット工場

本社

重量のあるユニットは、作業者が協働ロボットと協力して組立を行っています。組立以外にも防錆油塗付や洗浄作業などにも協働ロボットを活用し、製造を効率化しています。



ロボカット工場

本社

重量のあるユニットは、作業者が協働ロボットと協力して組立を行っています。組立工程や試験工程の進捗をリアルタイムにモニタし、工程に応じた的確な作業指示を行っています。



機械加工工場

本社

筑波

ロボット、ロボドリル、ロボショット、ロボカットの部品を加工しています。ファナックロボットセルを導入し、夜間、週末を含む長時間の無人運転を行っています。工作機械、ロボットの稼働モニタを活用した設備の稼働率向上、精度変化の把握による加工不良の削減を行っています。また、工場環境を維持するため、ミスト量、温度、湿度、照度の見える化も行っています。

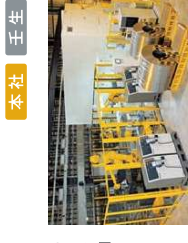


サーボモータ部品加工工場

本社

壬生

モータ部品の旋削加工を行っています。素材の加工セルへの搬送、加工機への取り付け・取外しは、自動倉庫とロボットで行います。



プレス工場

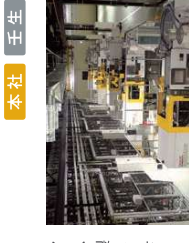
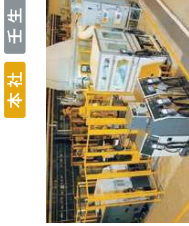
モータのプレス部品の製造を行っています。プレス部品の取り出し、検査、測定は、ロボットにより自動で行います。

ダイカスト工場

本社

壬生

モータのダイカスト部品を製造しています。鋳造から取り出し、堰折り、バリ取りまで、全工程をロボット化しています。



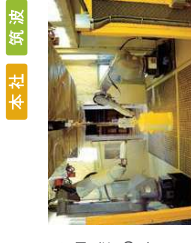
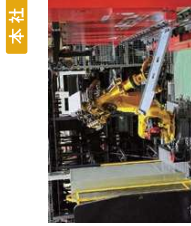
モールド工場

CNC、サーボモータ、サーボアンプ、ロボットで使用するプラスチック部品を、ロボショットで製造しています。成形の状態は、ネットワーク経由で常時監視、記録されます。

板金工場

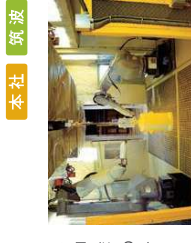
本社

ファナックロボットのコントローラのキャビネットを、高度にロボット化された設備により製造しています。



塗装工場

本社工場ではサーボモータ部品、ロボット部品、筑波工場ではロボット部品の塗装を行っています。塗装、洗浄、マスキングの各工程をロボットで自動化しています。



世界の産業オートメーションを支える

グローバルサービスネットワーク

ファナックは全世界の280ヶ所以上のサービス拠点を100ヶ国以上のお客様を全力でサポートしています。



ウェブサイトへ



お客様が商品を使用される限り保守を続ける

生涯保守

「生涯保守」はファナック独自の強みの一つです。ファナックでは、470台以上の設備により16,000種以上の修理が可能で、これまでに210万件以上の実績があります。製造中止のものを含め17,000種300万点を超える修理用部品を揃えています。修理実績データは、ノウハウとして世界中の修理部門で活用され、商品開発部門へもフィードバックされています。



高い稼働率の実現を目指すサービス体制

世界中の主要拠点には、サービスコールセンタと保守部品倉庫があり、お客様の高い稼働率の実現に寄与することを目指しています。

コールセンタ

コールセンタではFA商品、ロボット、ロボマシンの精通したベテランのエンジニアがお客様からのお問い合わせや保守依頼に素早く対応しています。



保守部品倉庫

世界中のサービス拠点の倉庫には豊富な保守部品が在庫されています。日野支社と名古屋サービスセンタにあるパーツセンタには、旧機種から最新機種までの保守部品が在庫されており、24時間いつでも出荷できる体制があります。グローバル倉庫には世界各地の倉庫を補完する保守部品を在庫し、世界中のお客様の高い稼働率に貢献しています。



デジタルを活用し、より便利に

FabriQR Contact

(ファブリキア コンタクト)

FabriQR Contactとは、スマートフォンを利用したお問い合わせサービスです。画面に表示された二次元コードをスマートフォンで読み取ると、装置情報やアラーム情報などがファナックのサービスフロントに自動転送されます。ファナックのサービス員がお客様からのコメントと一緒に、装置状況を正確かつすぐに把握することで、問題解決までの時間が短縮されます。



ZDT (ゼロダウンタイム)

ロボットの保守診断機能を統合的に提供するZDTは、予期しないダウンタイムをゼロにする、実用的なIoT商品です。「故障予知」、「トラサービリティ」、「予防保全」、「システム監視」によりダウンタイムゼロを実現します。また、クラウド、オンプレミス双方の構成をサポートします。



ファンック商品の活用方法を学べる ファンックアカデミ

お客様の事業でファンック商品をご活用いただけるよう、ファンックアカデミでは広々とした教室や豊富な実習機材と研修システムを設備して、実習中心で実務ですぐに役立つ研修コースを開催しています。また、隣接する宿泊施設のファンックゲストハウスには、ゆっくり過ごせる宿泊室や大浴場などの施設を備え、充実した研修期間をお過ごしいただけます。



3つの研修コース

アカデミ講習会



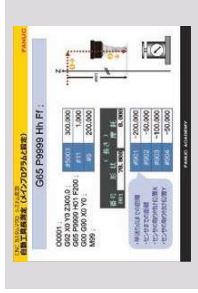
対面式のアカデミ講習会では豊富な実習機材を使い、説明の後にすぐに実習を行い、疑問点にはすぐに講師がアドバイスをします。

ライブセミナー



ライブセミナーではファンックアカデミに來校されることなしに、自宅や会社で高度な内容の講習を受けることができます。また、経験豊富な講師に自由に質問することが可能です。

オンデマンドセミナー



オンデマンドセミナーでは、資料や動画を使って好きな時に好きな場所で、高度な技術を勉強することができます。

ファンックのサステナビリティ

ファンックは創業以降、一貫して製造業をはじめとする産業のオートメーションを追求しています。不断の技術革新によりお客様の事業の自動化を進め、産業オートメーションの分野から社会課題、環境課題の解決に貢献することで経済的価値と社会的価値を創造します。

1

カーボンニュートラル実現に向けた様々な取り組みを推進



温室効果ガス
排出量削減



消費電力の削減



クリーンエネルギー
活用

2

事業活動、商品機能を通じてお客様のSDGs達成に貢献



2 資源を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



7 公正な働き場を
みんなに



8 廃棄物ないで
資源循環



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
適応する



9 産業と技術革新の
力をもつ

具体的な取り組み

太陽光設備の導入

計8.6MWの太陽光発電設備を稼働中。2026年度までに累計14.6MWの導入を見込んでいます。

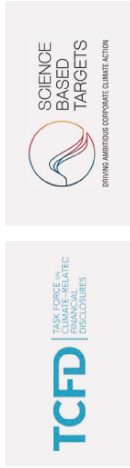


グローバル・インダストリー・パートナーとして技能五輪国際大会を支援

世界トップの産業用ロボットメーカーであるファナックは、職業教育機関である技能五輪国際大会 (WorldSkills Competition) を2018年から支援しています。



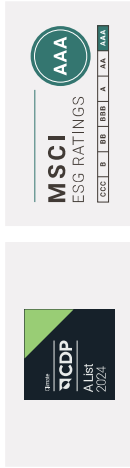
外部イニシアチブへの参画



気候変動関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 2021年12月にTCFDの提言への賛同を表明しました。

SBTイニシアチブ 2030年までのGHG排出削減目標 についてはSBT (Science Based Targets) イニシアチブの認定を得ています。

外部からの評価



CDP ファナックはCDP気候変動で最高評価「A」リスト企業に2年連続で選定されています。

MSCI* ファナックは2023年より、ファナックはMSCI ESG格付けで最高評価AAAを獲得しています。

*THE USE BY FANUC CORPORATION OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF FANUC CORPORATION BY MSCI. MSCI RESEARCH AND ANALYSIS ARE PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY, REPRESENTATION, OR GUARANTEE. MSCI DOES NOT ASSUME ANY LIABILITY FOR ANY INACCURACIES, OMISSIONS, OR ERRORS IN THE DATA OR INFORMATION PROVIDED. MSCI AND MSCI LOGOS ARE TRADEMARKS OF SERVICE MARKS OF MSCI.

会社概要

社名	ファナック株式会社
設立	1972年5月12日
資本金	690億円
従業員数	10,113名(連結)、4,793名(単体) ※2025年3月現在
本社所在地	〒401-0597 山梨県南都留郡忍野村忍草3580
業績(2024年度)	売上 7,971 億円 経常利益 1,967 億円 純利益 1,476 億円

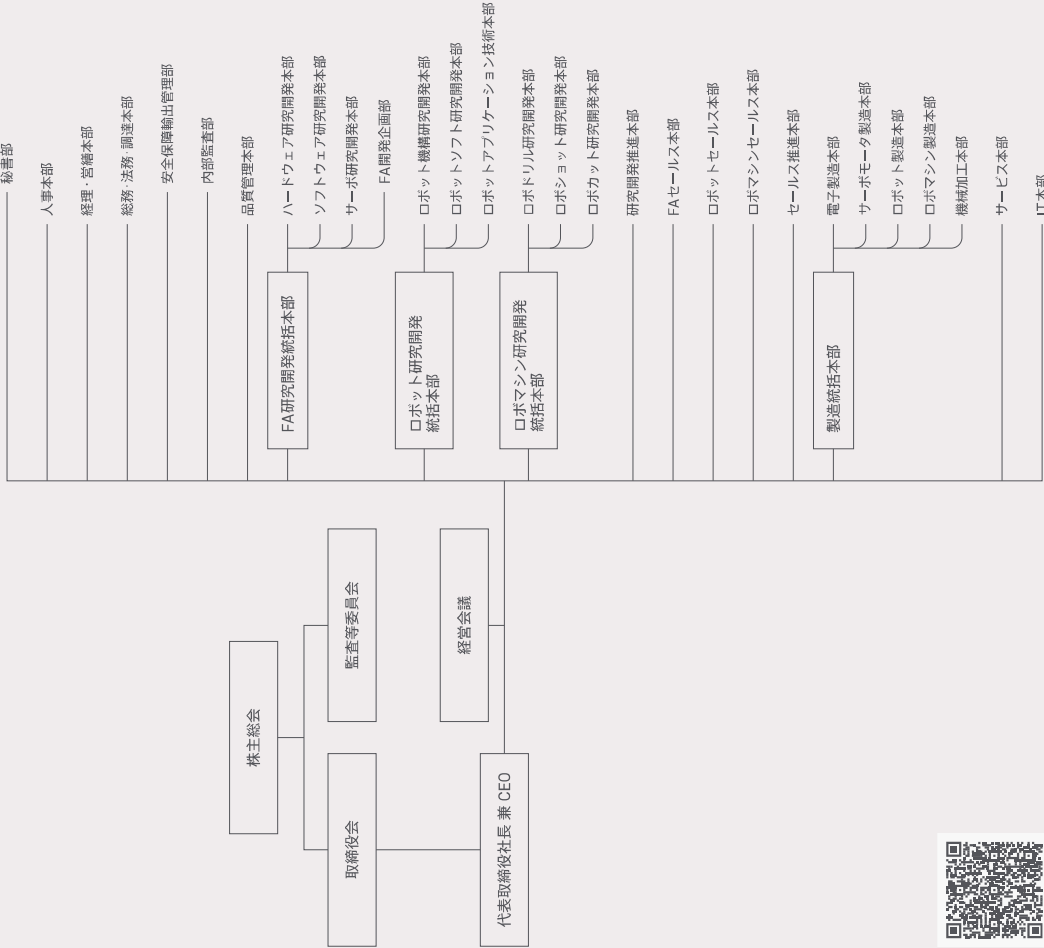
役員一覧

2025年7月1日時点

代表取締役社長 兼 CEO	山口 賢治
取締役	流石 柳二 (常務執行役員 兼 CFO、経理・営繕本部長)
	マイケル J. チコ (ファナックアメリカコーポレーション取締役社長 兼 CEO)
	山崎 直子 (社外)
	魚住 弘人 (社外)
	武田 洋子 (社外)
専務執行役員	岡田 俊哉 (常勤監査等委員)
	横井 秀俊 (監査等委員、社外)
	富田 美栄子 (監査等委員、社外)
	五十島 滋夫 (監査等委員、社外)
	野田 浩 (FA研究開発統括本部長 兼 研究開発推進本部長)
	権田 与志広 (総務・法務・調達本部長)
	石邊 知明 (FAセールズ本部長)
常務執行役員	安部 健一郎 (ロボット研究開発統括本部長 兼 ロボット機構研究開発本部長 兼 ロボットアプリケーション技術本部長)
	岩下 平輔 (FA研究開発統括本部ソフトウェア研究開発本部長)
	高次 聡 (ロボマシン研究開発統括本部長 兼 ロボマシセールズ本部長 兼 セールス推進本部長)
	加藤 盛剛 (ロボット研究開発統括本部ロボットソフト研究開発本部長)
	福田 正幹 (FA研究開発統括本部サーボ研究開発本部長)
	島田 直樹 (ロボットセールズ本部長)
	遠藤 裕一 (製造統括本部長代行 兼 ファナックサーボ株式会社代表取締役社長)
執行役員	篠原 達夫 (製造統括本部電子製造本部長)
	鯨名 淳 (人事本部長)
特別顧問	稲葉 善治

組織図

2025年7月1日時点



ウェブサイトへ

ファナックの歴史

